

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	194	防災関係経費(旧地域振興課)	会計	01	一般会計
基本施策	15	自然災害等への十分な備えをする	款	02	総務費
			項	01	総務管理費
			目	20	防災費
担当部課名	阿山支所 総務振興課			細目	101 防災対策経費
作成者氏名	森岡 良夫	連絡先	0595-43-1543	細々目	01 防災関係経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	地区の住民	成果(どうなるのか)	災害時に正確な情報を確実に伝達することにより、迅速な避難行動がとれるようになる。
	本年度事業内容	伊賀市防災行政無線設備(デジタル)が整備された。 旧阿山町時代からの防災行政無線(アナログ)の保守点検及び維持管理。		
開始年度	平成	年度	終了年度	平成
				年度
				根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	2	1.5	1.5
	人件費合計(A)	14,400	10,800	10,800
②支出内訳(千円)	事業費(B)	3,973	2,625	2,625
	委託料	2,257	2,270	2,270
	賃金	1,301		
	その他	415	355	355
合計(A+B)		18,373	13,425	13,425
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財	45		
	一般財源	18,328	13,425	13,425
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
防災行政無線稼働日数	日	244	245	248			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
防災行政無線の設置箇所数	箇所数の増減により必要度が測れる	ヶ所	2,159 目標 (2,200)	2,160	2,170
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

現在、携帯電話が普及しているが災害対策には複数の通信手段を確保すべきであり現状のまま継続する。
平成17年度に市全域において防災行政無線のデジタル化が行われた。現在、阿山支所管内の防災行政無線はアナログで放送を行っており、各戸へ貸与している拡声器はアナログであり、償却が終わる平成24年度にデジタルに切り替える必要があり、切替には多大な費用が必要となる。

評価	必要性	4	正確な情報の把握とその情報を市民に早く正確に伝えることが必要である。防災行政無線は各戸に個別受信機が設置されており、一斉に情報の伝達ができる有効な手段であるので、今後も引き続き実施する。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		